

1. 2. 3. 4. 5.
い主 みひこ
の^エざとの
ちスより世
のがりのの
みわなみた
これが子び
とらるをじ
ばのるもを
こかいあた
のたのたた

世^よえちえか
ににのたい
くましめぬ
ださみいき
りばずして
かくくちと
わらやちこ
けきめなし
るやるるえ

こみこみの
こじこかい
ろをろみの
をもににち
うおゆこか
るそるこち
おれしろう
しずをある
なああつた
がゆたくめ
るまうすに

主やみ主み
イエ
さこ
イエ
た
スしとスマ
のきばにの
み主にあつ
こ
イエ
より
とスリてぎ
ばがてはの
あとあわな
いもわれが

すにれらみ
るまみはこ
もさふとと
のずかわば
にばきにを
いかあつか
のがいみた
ちやのにく
とくみさに

ちみちだぎ
かくちめり
らににらつ
をもぞるつ
ゆわわおあ
たれれそゆ
かはられま
にのははせ
みぞああた
たまえらま
すじりずえ

すべてのことを、つぶやかず、疑わないで下さい。
それは、あなたがたが責められるところのない純真
な者となり、曲った邪惡な時代のただ中であって、
傷のない神の子となるためである。あなたがたは、
いのちの言葉を堅く持って、彼らの間で星のように
この世に輝いている。